

《別図表-1 道路整備状況（高規格幹線道路）》

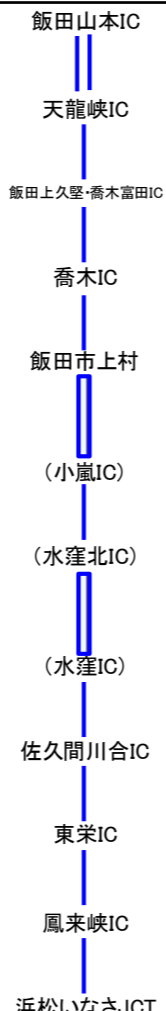


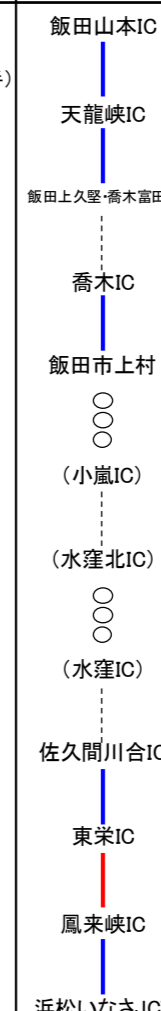
新広域道路 交通計画	名称	区間	意義	2022年ネットワークビジョン				備考
				2030年代末	2022年3月末時点	2024年3月末時点	2027年3月末時点	
高規格道路	新東名高速道路の6車線化	海老名南JCT ~ 豊田東JCT (圏央道)	<p>○新東名・新名神高速道路は、東名・名神高速道路とダブルネットワークを形成し、三大都市圏をつなぎ、日本の社会経済を支える大動脈としての役割を担う大変重要な道路である。</p> <p>○新東名・新名神高速道路は完成6車線として計画されたが、愛知県内と三重県内では暫定4車線区間が存在し、この区間がボトルネックとなり、平常時・災害時の安定的な人流・物流の確保を図る上において課題となっている。</p>					2022年12月記者発表新秦野IC~新御殿場ICの供用時期の延期
高規格道路	新名神高速道路の6車線化	四日市JCT ~ 亀山西JCT) (伊勢湾岸、東名阪)	○新東名高速道路の6車線化と同じ。					
高規格道路	東海環状自動車道(西回り区間)	豊田東JCT ~ 新四日市JCT (新東名、伊勢湾岸)	<p>○東海環状自動車道は、愛知県、岐阜県、三重県の3県の中部圏を環状する高規格幹線道路であり、伊勢湾岸道と一体となり、東名・名神高速道路、中央自動車道、東海北陸自動車道、新東名・新名神高速道路の6本の放射状道路を連結し、広域的なネットワークを形成する。</p> <p>○岐阜県、三重県内区間である西回り区間に整備中区間が存在し、この区間が開通すれば、沿線地域や北陸方面から、名古屋港や四日市港、中部国際空港へのアクセスが改善されるとともに、整備済みの東回り区間と同様に、沿線に企業が進出するなど、地域活性化にも大いに寄与することが期待される。</p> <p>○三重県、岐阜県と北陸地域を結ぶ新たな観光ルートが開拓されるとともに、南海トラフ地震などの災害時には、濃尾平野の海拔ゼロメートル地域を迂回する緊急搬送ルートとしても重要な役割を果たすことが期待される。</p>					※「高速道路における安全・安心基本計画」に基づき、土岐JCT~可児御嵩IC間において、4車線化工事中

※高速道路における安全・安心基本計画 https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001229.html

新広域道路 交通計画	名称	区間	意義	2022年ネットワークビジョン		整備状況				備考
				2030年代末	2022年3月末時点	2024年3月末時点		2027年3月末時点		
高規格道路	東海北陸自動車道の全線4車線化	一宮JCT (名神、東海北陸) ~ 小矢部砺波JCT (北陸、能越)	<p>○東海北陸自動車道は、中部地域と北陸地域とを最短で結び、相互の交流と連携を促進する地域連携軸の中心となる社会基盤であり、北陸地域から中部国際空港や名古屋港へ、中部地域から伏木富山港への広域アクセスとしても非常に重要な道路である。</p> <p>○観光面での連携として「昇龍道プロジェクト」の取組みもあり、訪日外国人観光客の増加も顕著にみられる中、多くの観光客が中部・北陸地域を訪れており、東海北陸自動車道はこれら観光客の移動の中心的役割を担う道路として、地域の観光振興、ひいては地域創生にも大いに役立っている。</p> <p>○東海北陸自動車道の約3割の区間は未だ暫定2車線であるため、交通渋滞が頻発し、追突事故や正面衝突などの深刻な事故が発生しており、これらの抜本的対策として、一日も早い全線4車線化が必要である。</p>						2022年度福光IC～南砺SIC間(延長約4.6km)4車線化 事業許可	
高規格道路	中部縦貫自動車道	松本JCT (長野) ~ 福井北JCT (北陸)	<p>○中部縦貫自動車道の整備により、長野道自動車・東海北陸道自動車道・北陸道自動車道と連絡し、中部・北陸地方に高速交通ネットワークが形成され、物流の効率化や地域間の連携向上が期待される。</p> <p>○観光面でも、中部圏と北陸圏は、昇龍道プロジェクトなど連携の取組みを強めており、クルーズ船によるインバウンドの新たな観光周遊ルートの構築が期待される。</p> <p>○南海トラフ地震などの災害発生時のリスク対応の面からも、太平洋沿岸部の路線が被災した際に、首都圏や中部圏を連絡する代替路として、災害時の広域的な救護・救援、物資輸送ルートとして機能することが期待される。</p>							

新広域道路 交通計画	名称	区間	意義	2022年ネットワークビジョン				備考
				2030年代末	2022年3月末時点	2024年3月末時点	2027年3月末時点	
高規格道路	近畿自動車道紀勢線	勢和多気JCT ~ 紀宝IC (伊勢)	<p>○近畿自動車道紀勢線は、紀伊半島を一周する高規格道路として、農林水産業の振興、周遊観光による観光の活性化、南海トラフ巨大地震等の大規模地震時における緊急輸送道路の確保が期待される。</p> <p>○救急医療活動の面でも、地域の拠点病院への搬送時間が短縮し、命の道として機能することが期待される。</p>	勢和多気JCT 	勢和多気JCT 供用中(暫定2車線) 4車線事業中(工事着手済) 紀勢大内山IC 供用中 尾鷲北IC 供用中 熊野大泊IC 事業中(工事着手済) (熊野IC) 事業中(工事未着手) (紀宝IC)	勢和多気JCT 供用中(暫定2車線) 4車線事業中(工事着手済) 紀勢大内山IC 供用中 尾鷲北IC 供用中 熊野大泊IC 事業中(工事着手済) (熊野IC) 事業中(工事未着手) (紀宝IC)	勢和多気JCT 供用中(暫定2車線) 4車線事業中(工事着手済) 紀勢大内山IC 供用中 尾鷲北IC 供用中 熊野大泊IC 事業中(工事着手済) (熊野IC) 事業中(工事未着手) (紀宝IC)	
				新清水JCT 	新清水JCT 供用中(暫定2車線) 双葉JCT 供用中 (中央自動車道) (長坂JCT) 調査中 八千穂高原IC 調査中 佐久小諸JCT 供用中(暫定2車線)	新清水JCT 供用中(暫定2車線) 双葉JCT 供用中 (中央自動車道) (長坂JCT) 調査中 八千穂高原IC 調査中 佐久小諸JCT 供用中(暫定2車線)	新清水JCT 供用中(暫定2車線) 双葉JCT 供用中 (中央自動車道) (長坂JCT) 調査中 八千穂高原IC 調査中 佐久小諸JCT 供用中(暫定2車線)	

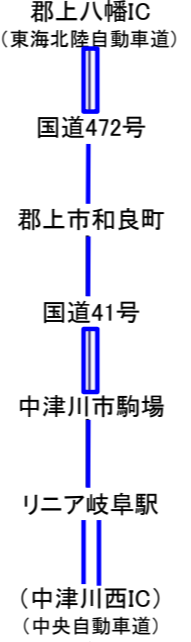
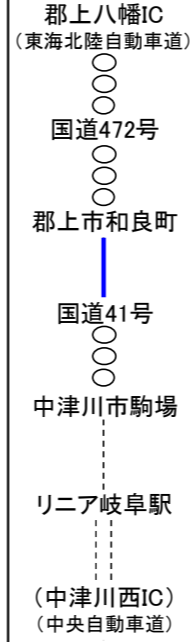
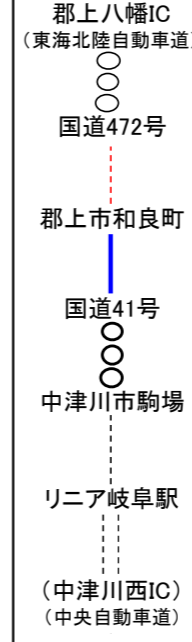


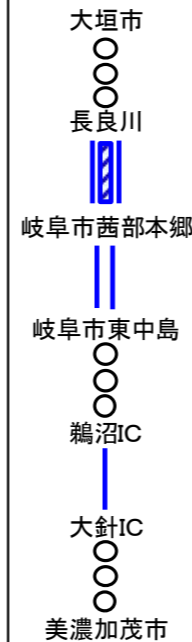

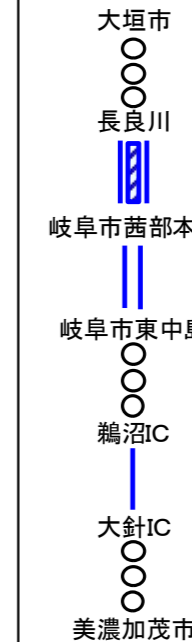
	供用中
	事業中
	調査中
	2車線
	4車線
	6車線
	車線数は事業化までに決定
	立体化

新広域道路 交通計画	名称	区間	意義	2022年ネットワークビジョン				備考
				2030年代末	2022年3月末時点	2024年3月末時点	2027年3月末時点	
高規格道路	三遠南信自動車道	飯田山本IC(中央) ~ 浜松いなさJCT(新東名)	<p>○三遠南信自動車道の整備により、産業面では、航空宇宙産業や輸送機器をはじめとしたものづくり企業の地域連携、農産物の消費地拡大、三河港からの海外輸出増加等が考えられる。</p> <p>○観光面でも、クルーズ船の観光客は1日で観光地を周遊してくる必要があり、三河港を起点に、奥三河や南信州、中央アルプス、スキー場など、太平洋側と山岳地域をセットとした新たな観光ルートの設定や、長野県飯田市のリニア長野県駅を利用した周遊ルートの設定も期待される。</p> <p>○防災面では、三遠南信自動車道の整備により災害時のリダンダンシーも高まり、南海トラフ地震の際には地盤の強い内陸との避難や緊急物資輸送ルートとして活用や、日常的にも救急病院への搬送などに活用が可能となる。</p>					
				<p>飯田山本IC 供用中(暫定2車線) 車線事業中(工事未着手)</p> <p>天龍峡IC 供用中</p> <p>飯田上久堅・喬木富田IC 事業中(工事着手済)</p> <p>喬木IC 供用中</p> <p>飯田市上村 調査中(現道「国道152号」活用にて事業中)</p> <p>(小嵐IC) 事業中(工事着手済)</p> <p>(水窪北IC) 調査中(現道「国道152号」活用にて事業中)</p> <p>(水窪IC) 事業中(工事未着手)</p> <p>佐久間川合IC 供用中</p> <p>東栄IC 事業中(工事着手済) 25年度 供用(予定)</p> <p>鳳来峡IC 供用中</p> <p>浜松いなさJCT</p>	<p>飯田山本IC 供用中(暫定2車線) 車線事業中(工事未着手)</p> <p>天龍峡IC 供用中</p> <p>飯田上久堅・喬木富田IC 事業中(工事着手済)</p> <p>喬木IC 供用中</p> <p>飯田市上村 調査中(現道「国道152号」活用にて事業中)</p> <p>(小嵐IC) 事業中(工事着手済)</p> <p>(水窪北IC) 調査中(現道「国道152号」活用にて事業中)</p> <p>(水窪IC) 事業中(工事未着手)</p> <p>佐久間川合IC 供用中</p> <p>東栄IC 事業中(工事着手済) 25年度 供用(予定)</p> <p>鳳来峡IC 供用中</p> <p>浜松いなさJCT</p>	<p>飯田山本IC 供用中(暫定2車線) 車線事業中(工事未着手)</p> <p>天龍峡IC 供用中</p> <p>飯田上久堅・喬木富田IC 事業中(工事着手済)</p> <p>喬木IC 供用中</p> <p>飯田市上村 調査中(現道「国道152号」活用にて事業中)</p> <p>(小嵐IC) 事業中(工事着手済)</p> <p>(水窪北IC) 調査中(現道「国道152号」活用にて事業中)</p> <p>(水窪IC) 事業中(工事未着手)</p> <p>佐久間川合IC 供用中</p> <p>東栄IC 事業中(工事着手済) 25年度 供用(予定)</p> <p>鳳来峡IC 供用中</p> <p>浜松いなさJCT</p>	<p>飯田山本IC 供用中(暫定2車線) 4車線事業中(工事未着手)</p> <p>天龍峡IC 供用中</p> <p>飯田上久堅・喬木富田IC 事業中(工事着手済)</p> <p>喬木IC 供用中</p> <p>飯田市上村 調査中(現道「国道152号」活用にて事業中)</p> <p>(小嵐IC) 事業中(工事着手済)</p> <p>(水窪北IC) 調査中(現道「国道152号」活用にて事業中)</p> <p>(水窪IC) 事業中(工事未着手)</p> <p>佐久間川合IC 供用中</p> <p>東栄IC 25年度 供用</p> <p>鳳来峡IC 供用中</p> <p>浜松いなさJCT</p>	

	供用中
	事業中
	調査中
	2車線
	4車線
	6車線
	車線数は事業化までに決定
	立体化

新広域道路 交通計画	名称	区間	意義	2022年ネットワークビジョン				備考								
				2030年代末	2022年3月末時点	2024年3月末時点	2027年3月末時点									
高規格道路	伊豆縦貫自動車道	沼津岡宮IC ~ 下田IC (東名)	<p>○伊豆縦貫自動車道は、伊豆地域と東名高速道路・新東名高速道路と連結することにより、高速交通体系から取り残された伊豆地域へ高速サービスを提供し、伊豆地域の交通混雑緩和が期待される。</p> <p>○伊豆地域は観光資源に恵まれており、移動時間短縮により観光圏域が拡大し、観光客の増加が期待される等、伊豆地域の観光振興も図られる。</p> <p>○伊豆地域は、南海トラフ地震発生時には沿岸部で津波浸水被害が想定されており、また近年の台風や大雨では、沿岸部や内陸部の国道で被災による通行止めが発生していることから、伊豆縦貫自動車道の整備により、東名高速道路・新東名高速道路からの広域的な災害時の緊急輸送道路としても期待されてる。</p>					2023年度 天城峠道路(月ヶ瀬～茅野)事業化								
				<table border="1"> <tr><td></td><td>供用中</td></tr> <tr><td></td><td>事業中</td></tr> <tr><td></td><td>調査中</td></tr> <tr><td></td><td>2車線</td></tr> <tr><td></td><td>4車線</td></tr> <tr><td></td><td>6車線</td></tr> <tr><td></td><td>車線数は事業化までに決定</td></tr> <tr><td></td><td>立体化</td></tr> </table>		供用中			事業中		調査中		2車線		4車線	
	供用中															
	事業中															
	調査中															
	2車線															
	4車線															
	6車線															
	車線数は事業化までに決定															
	立体化															

《別図表-2 道路整備状況（地域高規格道路）》

新広域道路 交通計画	名称	区間	意義	2022年ネットワークビジョン				備考												
				2030年代末		2022年3月末時点			整備状況											
						2024年3月末時点		2027年3月末時点												
高規格道路	濃飛横断自動車道	中津川西IC(中央) ~ 郡上八幡IC(東海北陸)	<p>○観光面では、リニア岐阜県駅を起点に、下呂や郡上、高山、中部縦貫自動車道を利用して福井県方面にも観光ルートの設定が可能となるほか、名古屋・北陸方面から下呂への所要時間短縮が可能となり、地域活性化の効果が期待される。</p> <p>○特に下呂地域周辺は、高規格道路の大きな空白域となっており、東海北陸自動車道や中央自動車道との接続により利便性が向上する。</p> <p>○防災面では、国道41号が豪雨により障害が起きた場合の代替経路とすることが可能となる。</p>					<p>2023年度和良工区事業化 2023年度堀越峠道路事業化</p>												
				<table border="1" data-bbox="341 504 667 766"> <tr><td></td><td>供用中</td></tr> <tr><td></td><td>事業中</td></tr> <tr><td></td><td>調査中</td></tr> <tr><td></td><td>2車線</td></tr> <tr><td></td><td>4車線</td></tr> <tr><td></td><td>6車線</td></tr> <tr><td></td><td>車線数は事業化までに決定</td></tr> <tr><td></td><td>立体化</td></tr> </table>		供用中		事業中		調査中		2車線		4車線		6車線		車線数は事業化までに決定		立体化
	供用中																			
	事業中																			
	調査中																			
	2車線																			
	4車線																			
	6車線																			
	車線数は事業化までに決定																			
	立体化																			
高規格道路	岐阜南部横断ハイウェイ	大垣市 ~ 美濃加茂市	<p>○岐阜南部横断ハイウェイは、岐阜県南部の中核都市である岐阜市、大垣市、各務原市、美濃加茂市を連結、東海北陸自動車道、東海環状自動車道と接続し、地域の骨格を形成するとともに、岐阜貨物ターミナルのアクセス道路としても機能する道路である。</p>																	

新広域道路 交通計画	名称	区間	意義	2022年ネットワークビジョン				備考												
				整備状況																
				2030年代末	2022年3月末時点	2024年3月末時点	2027年3月末時点													
高規格道路	富山高山連絡道路	高山市 ~ 富山市	<p>○東海北陸自動車道の岐阜・富山県境付近には延長5kmを超えるトンネルがあり危険物積載車両通行禁止区間となっており、現在は富山県内で生産される医薬品の原料となる溶媒等の薬品を中部圏から東海北陸自動車道では運ぶことができない。</p> <p>○現在整備中の富山高山連絡道路を構成する猪谷楡原道路と大沢野富山南道路により、富山県内で生産される医薬品の原料となる溶媒等の薬品を中部圏から運ぶ際などの物流の効率化が図られる。</p> <p>○防災面でも、並行する国道41号は、冬季の堆雪の際の路肩未確保区間が多く、連続雨量規制区間や、急カーブ・急こう配区間が連続することから整備効果が高い。</p>																	
				<table border="1"> <tr><td></td><td>供用中</td></tr> <tr><td></td><td>事業中</td></tr> <tr><td></td><td>調査中</td></tr> <tr><td></td><td>2車線</td></tr> <tr><td></td><td>4車線</td></tr> <tr><td></td><td>6車線</td></tr> <tr><td></td><td>車線数は事業化までに決定</td></tr> <tr><td></td><td>立体化</td></tr> </table>		供用中		事業中		調査中		2車線		4車線		6車線		車線数は事業化までに決定		立体化
	供用中																			
	事業中																			
	調査中																			
	2車線																			
	4車線																			
	6車線																			
	車線数は事業化までに決定																			
	立体化																			
高規格道路	高山下呂連絡道路	高山市 ~ 下呂市	○富山高山連絡道路と同じ。																	
高規格道路	静岡東西道路	静岡市清水区 ~ 藤枝市	○静岡南北道路は、静岡貨物ターミナルのアクセス道路として、静岡東西道路を経由して清水港と高規格道路での接続が可能となり、輸出入貨物の鉄道輸送など物流効率化も期待される。																	






















新広域道路 交通計画	名称	区間	意義	2022年ネットワークビジョン				備考	
				整備状況					
				2030年代末	2022年3月末時点	2024年3月末時点	2027年3月末時点		
高規格道路	静岡南北道路	新静岡IC (新東名) ~ 国道150号	○静岡東西道路と同じ。					2022年度 長沼立体 概要ルート・ 構造の検討 着手	
高規格道路	金谷御前崎連絡道路	島田金谷IC (新東名) ~ 地頭方IC	○富士山静岡空港や御前崎港のアクセス性向上により、周辺企業の物流効率化や沿線への新規工場立地、観光活性化も期待される。 ○防災面では、南海トラフ地震の際に沿岸部への避難や緊急物資輸送ルートとしても重要な道路である。					2023年度 金谷相良道 路Ⅲ事業化	
高規格道路	名豊道路	豊橋東IC ~ 豊明IC	○名豊道路が繋がる豊橋、田原、三河港地域は、高規格幹線道路から地理的に離れており、名豊道路の整備により、特に自動車産業が集積する西三河地域から三河港への物流効率化や、沿線地域への企業進出などのストック効果につながるものと期待される。 ○並行する国道1号は市街地を通過し渋滞が頻発しており、名豊道路が完成すると渋滞が緩和されることから、国道1号沿線にも物流効率化やストック効果、交通事故抑止効果が期待される。 ○愛知県の農業産出額は全国8位で、その半分以上を占める東三河地域から、名古屋方面への物流のためにも大変重要な道路である。						









	供用中
	事業中
	調査中
	2車線
	4車線
	6車線
	車線数は事業化までに決定
	立体化

新広域道路 交通計画	名称	区間	意義	2022年ネットワークビジョン				備考											
				整備状況															
				2030年代末	2022年3月末時点	2024年3月末時点	2027年3月末時点												
一般広域道路	衣浦豊田道路	豊田勤八IC (東海環状) ~ 碧南市港本町 (港本町交差点)	○日本の経済を牽引するものづくりの中心地である三河地域を南北に縦断し、内陸の自動車組立工場と沿岸部の部品工場や衣浦港などの港湾を結ぶとともに、整備を提案している新たな環状道路の短絡線としても機能する道路であり極めて必要性が高い。																
				<table border="1"> <tr><td></td><td>供用中</td></tr> <tr><td></td><td>事業中</td></tr> <tr><td></td><td>調査中</td></tr> <tr><td></td><td>2車線</td></tr> <tr><td></td><td>4車線</td></tr> <tr><td></td><td>6車線</td></tr> <tr><td></td><td>車線数は事業化までに決定</td></tr> <tr><td></td><td>立体化</td></tr> </table>		供用中		事業中		調査中		2車線		4車線		6車線		車線数は事業化までに決定	
	供用中																		
	事業中																		
	調査中																		
	2車線																		
	4車線																		
	6車線																		
	車線数は事業化までに決定																		
	立体化																		
高規格道路	伊勢志摩連絡道路	松下JCT (伊勢二見鳥羽) ~ 鷺方	○近畿自動車道伊勢線及び伊勢二見鳥羽ラインと一体となり伊勢志摩地域を高速交通で連結することにより、中部・関西の大都市圏等と広域交流圏の形成を図る道路である。 ○伊勢志摩地域の観光リゾート拠点との連絡強化、大規模災害時の緊急輸送道路としての機能確保とともに、地域の活性化に寄与することが期待される道路である。																
高規格道路	松本糸魚川連絡道路	波田IC (中部縦貫) ~ 糸魚川IC (北陸)	○松本糸魚川連絡道路は、長野自動車道や北陸自動車道と連結し高速交通ネットワークを形成するとともに、北アルプスの雄大な山々や日本海沿岸の海洋リゾート等、観光資源の豊かな地域を連絡する広域観光ルートとしても期待される。					2022年度安曇野道路事業化											

新広域道路 交通計画	名称	区間	意義	2022年ネットワークビジョン				備考	
				整備状況					
				2030年代末	2022年3月末時点	2024年3月末時点	2027年3月末時点		
高規格道路	伊那木曾連絡道路	伊那市(国道153号) ~ 木曾町日義宮ノ越(国道19号)	○伊那木曾連絡道路は、国道19号や中央自動車道路と一体となって高速交通ネットワークを形成するとともに、木曾地域と伊那地域の交流の拡大により両地域の産業発展に寄与することが期待される。					2021年度 姥神峠道路 (延伸)区間 事業化	
高規格道路	名岐道路	一宮中IC(名古屋) ~ 岐南IC	○現在は、名神高速道路の一宮IC～一宮JCT間において、東海北陸自動車道からの合流による交通集中のため、慢性的な渋滞が発生しており、中部圏と北陸圏間のボトルネックだけでなく、日本の東西の大動脈のボトルネックとなっていることから、この解消が期待される。					2020年4月 一宮～一宮 木曾川 計 画段階環境 配慮書	
高規格道路	西知多道路	東海JCT(伊勢湾岸、名古屋) ~ 常滑JCT(知多横断)	<p>○名古屋港は、原材料などを輸入し、これを後背地で製品・半製品化して、完成自動車やコンテナ貨物などとして輸出する仕組みが構築されており、渋滞などにより、この流れが滞ると、名古屋港の機能低下のみならず、日本の国際競争力の低下を招く状況である。</p> <p>○中部国際空港と新東名高速道路(伊勢湾岸自動車道)を直結するとともに、名古屋高速道路を経由してリニア中央新幹線の名古屋駅を結び、知多半島道路と一体となってダブルネットワークを形成する重要な路線であり、中部国際空港のアクセス性が高まることが期待される。</p>					2021年度 太田IC 事 業化 2021年度 長浦IC～日 長IC 事業 化	

	供用中
	事業中
	調査中
	2車線
	4車線
	6車線
	車線数は事業化までに決定
	立体化

新広域道路 交通計画	名称	区間	意義	2022年ネットワークビジョン				備考					
				2030年代末	2022年3月末時点	整備状況							
				2024年3月末時点	2027年3月末時点								
高規格道路	一宮西港道路 (新たな環状道路)	一宮JCT ~ 鍋田JCT (名神、東海北陸) (伊勢湾岸)	○中部圏では、首都圏、関西圏を結ぶ東西軸は、ネットワークが多重化する一方、太平洋と日本海を結ぶ南北軸は、東海北陸自動車道が役割を担うが、一宮JCT以南にミッシングリンクが存在する。一宮西港道路の整備は、この解消が期待されるとともに、名古屋環状2号線の外側に、既存の東名高速道路・名神高速道路に、名古屋三河道路を加えた新たな環状道路機能を有することに繋がる。 ○一宮西港道路が計画される地域は高規格道路の空白地域を含んでおり、名古屋港と北陸地域の物流流動の結びつきは強いことから、西尾張中央道(一般道)は大型車混入率が高く、主要交差点で頻りに渋滞が発生しており、この解消が期待される。	一宮JCT (東海北陸自動車道)  弥富市	一宮JCT (東海北陸自動車道)  弥富市 調査中	一宮JCT (東海北陸自動車道)  弥富市 調査中	一宮JCT (東海北陸自動車道)  弥富市 調査中	2022年度 概要ルート・ 構造の検討 着手					
	高規格道路	名古屋三河道路 (新たな環状道路)	鍋田JCT ~ 岡崎市 (伊勢湾岸)	○名古屋都市圏の環状道路を形成する東海環状自動車道と名古屋環状2号線は、伊勢湾岸自動車道で重複しており、大規模災害等への備えとして、伊勢湾岸自動車道とのダブルネットワークを形成する強靱な道路ネットワークの構築が必要であり、この解消が期待される。名古屋三河道路の整備は、名古屋環状2号線の外側に、既存の東名高速道路・名神高速道路に、一宮西港道路を加えた新たな環状道路機能を有することに繋がる。 ○三河地域内の生産拠点と名古屋港や中部国際空港などの物流拠点を結ぶ道路となる国道23号名豊道路や国道1号、さらに境川・衣浦港周辺では、渋滞が頻りに発生していることから、この解消が期待される。	弥富市  西知多道路  名豊道路  岡崎市	弥富市  西知多道路  名豊道路  岡崎市 調査中	弥富市  西知多道路  名豊道路  岡崎市 調査中	弥富市  西知多道路  名豊道路  岡崎市 調査中	2022年度 西知多道路 ~名豊道路 概要ルート・ 構造の検討 着手				
					高規格道路	鈴鹿亀山道路	亀山JCT ~ 鈴鹿市 (新名神、東名阪) (北勢バイパス)	○北勢地域南部の内陸部と四日市港、中部地方を、接続する鈴鹿四日市道路などを通じて結ぶことにより、地域の産業の物流効率化や連携強化に資するとともに、南海トラフ地震時の沿岸部への緊急物資輸送ルートとしても機能し、さらに北勢地域の南北軸の新名神高速道路や東名阪自動車道、鈴鹿四日市道路などを連絡することでリダンダンシー機能も期待される。	亀山JCT (新名神高速道路)  鈴鹿市 (鈴鹿四日市道路)	亀山JCT (新名神高速道路)  鈴鹿市 (鈴鹿四日市道路) 調査中	亀山JCT (新名神高速道路)  事業中(工事未着手) 鈴鹿市 (鈴鹿四日市道路)	亀山JCT (新名神高速道路)  事業中(工事未着手) 鈴鹿市 (鈴鹿四日市道路)	2022年度 事業化
									高規格道路	浜松湖西豊橋道路	三ヶ日JCT ~ 三河港 (東名)	○浜松湖西豊橋道路は、三遠南信自動車道、東名高速道路・新東名高速道路および名豊道路と広域幹線道路ネットワークを形成し、高規格幹線道路の空白地域である三遠南部地域と三河港を、高速交通体系に組み込むことにより、地域の産業の物流効率化や連携強化、災害時における支援活動の強化に寄与する重要な路線である。	三ヶ日JCT (東名高速道路)  三河港

	供用中
	事業中
	調査中
	2車線
	4車線
	6車線
	車線数は事業化までに決定
	立体化

《別図表-3》 図で見る中部圏交通ネットワークビジョン（2023年度末）

凡例

2023年度末の道路ネットワーク

高規格幹線道路

- 調査・整備中
- 未供用(中部圏以外)

地域高規格道路等

- 調査・整備中
- 未供用(中部圏以外)

【供用中の道路】

- 高規格幹線道路
- 地域高規格道路等
- 有料道路
- その他主要な国道

港湾

- 国際拠点港湾
- 重要港湾



※現在調査・整備中インフラを対象としており、構想・計画インフラは記載していない

《別図表-4》 図で見る中部圏交通ネットワークビジョン（2039年度末）

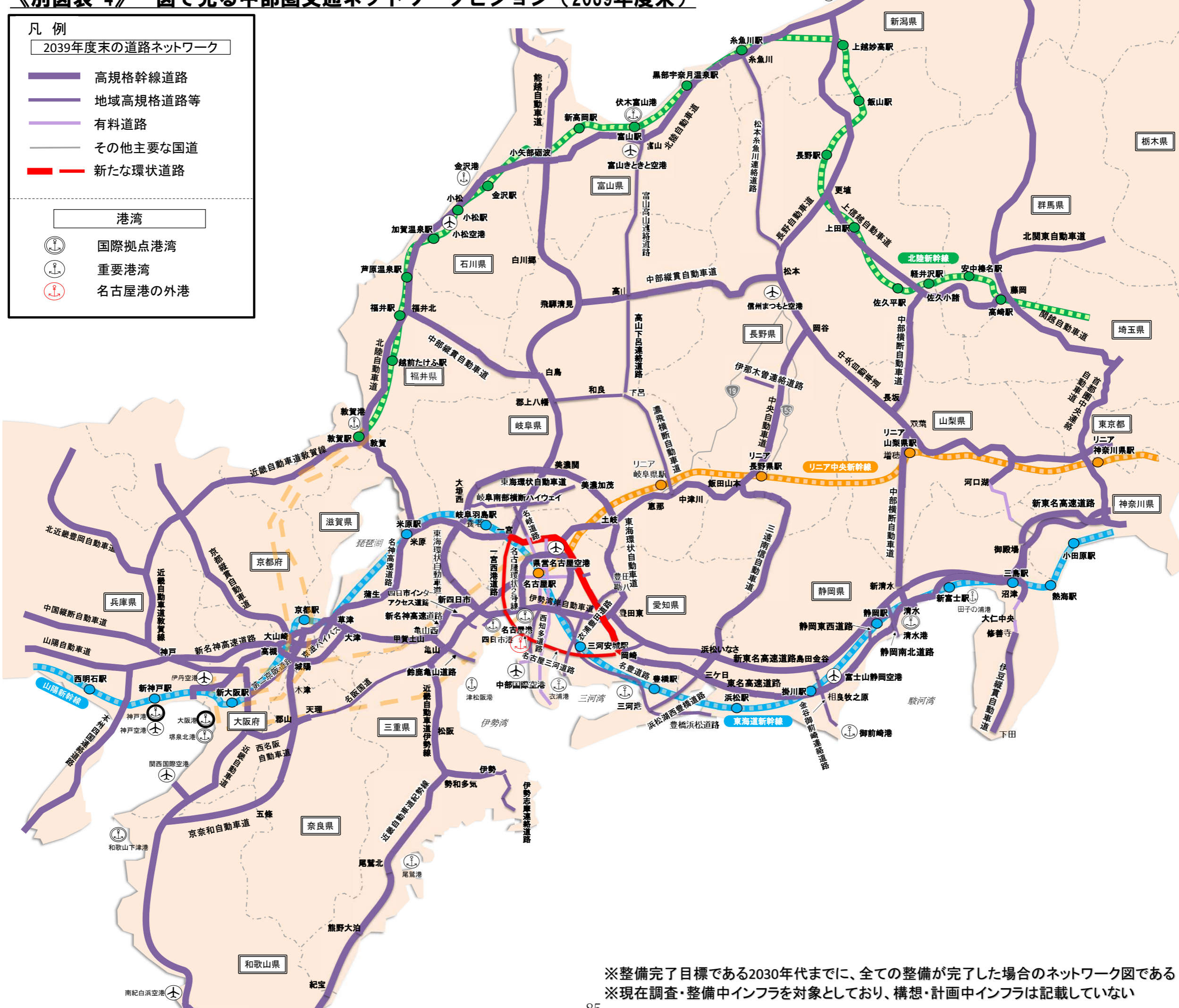
凡例

2039年度末の道路ネットワーク

- 高規格幹線道路
- 地域高規格道路等
- 有料道路
- その他主要な国道
- 新たな環状道路

港湾

- ⊕ 国際拠点港湾
- ⊙ 重要港湾
- ⊖ 名古屋港の外港



※整備完了目標である2030年代までに、全ての整備が完了した場合のネットワーク図である
 ※現在調査・整備中インフラを対象としており、構想・計画インフラは記載していない